

194. 下水道の日フェスティバルに行ってきました。

技術戦略部調査役（土木・建築） 岩野多恵

9月10日は「下水道の日」です。毎年、この頃に、地方公共団体によるイベントが全国各地で行われています。

9月8日の日曜日に、東京都虹の下水道館で「下水道の日フェスティバル」が行われたので、小学生の娘と一緒にに行ってきました。東京都虹の下水道館とは、お台場有明地区にある東京都下水道局の広報施設で、有明水再生センターの5階にあります。有明水再生センターは宇宙船のような形をしたユニークな建物です。

今年の「下水道の日フェスティバル」のメインイベントは、「びっくり科学ショー」でした。液体窒素の性質を利用したショーで、白衣を着た説明者が、色水を凍らせたり、会場に雲をつくったりしたので、参加した子供たちは大興奮でした。

館内ではスタンプラリーも行われており、3つのスタンプを集めた後にうんち型のボールを便器に投げ入れるゲームをし、下水道に関係する景品がもらえました。私も下水汚泥を焼却した灰を陶土に混ぜて作ったという陶器製のマグネットをもらって大満足でした。

また、中央監視室を模した部屋で、雨水ポンプを操作する体験をしました。東京アメッシュの画面が映し出されたモニターとパソコン画面に表示された水位を見ながら、パソコン上でポンプを操作するのですが、急に雨量が多くなるとポンプの操作が間に合わなくなり町が浸水してしまうので、なかなか難しいです。

その他、有明水再生センターの見学会や、SPR工法の実演、合流式下水道に使われる水面制御装置のデモンストレーションなどがありました。

「下水道の日フェスティバル」のような華やかなイベントは、下水道の役割や大切さを子供たちに伝えるだけでなく、下水道のイメージアップにもつながっていると思います。とても楽しく、また参加したいと思いました。